

平成23年度

一般会計補正予算(第5号・第6号)全員賛成で可決 (一般会計予算補正後 158億6,385万7千円) 予算特別委員会で可決された主な事業、質疑・答弁についてお伝えします。

○主な補正内容

- ・非常備消防費（消防団安全対策設備整備事業補助金・ライフジャケット） 88万2千円
- ・災害対策費（防災行政無線整備事業） ▲2億6,364万1千円
- ・予防接種事業（日本脳炎、ポリオ、風疹、麻疹、子宮頸がん予防等） ▲5,642万8千円
- ・児童福祉施設整備費（西郷保育園改築事業） ▲3,887万円
- ・こども手当費 ▲2,925万4千円
- ・農業体質強化基盤促進事業（暗渠排水事業） 9億6,422万円
- ・住宅リフォーム緊急助成事業 1,392万円
- ・小学校校舎改修事業（緊急防災・減災事業）千代田西部小学校 8,399万1千円
- ・総合行政システム機器類更新業務委託（庁舎内電算機器類） ▲1億4,818万1千円

主な質疑・答弁

神崎市総合支所設置条例の廃止について

Q 機構改革については、市民に対するサービス等に不具合があれば早急に改善を図ると答弁され、また、最終的な機構改革でないと言われたが、不具合があれば是正するのか。

A 今回の機構改革は、試行という型で行なうもので、何が何でもこの体制でやっていくということではない。

Q 総合支所方式が無くなれば、市民の意見や道路改修等を陳情しても即対応されない。また、ますます地域との密着した行政では無くなるのではないかと。また、職員の配置については、十分して配慮を。

A 総合窓口配置する職員については、手続き関係・福祉の知識・産業建設、農政などハード部分を相談できる職員を配置。千代田支所にはハード部分に関して、特に産業と建設の両方できる職員の配置を考慮する。



総合窓口課（千代田支所）

非常備消防費消耗品費(消防団安全対策設備整備事業) 事業費 88万2千円

Q H24年度に繰越しをされ、年度内に執行できるように協議すべきではなかったのか。

A 一般会計補正予算の討論採決が会期日程では3月28日となっており、予算執行が厳しい状況であった。今後、先議（先に議決すること）の協議が必要である。

Q 防災無線の戸別受信機を個人負担で取り付ける場合の費用は、どれ位か。

受信機のみで8万円程度、アンテナを付ける場合は10～12万程度である。

A 電波の悪い所は、通常アンテナで受信できないので3層アンテナを設置するので18万程度の費用が掛かる。

こども手当費 事業費 ▲ 2,925 万 4 千円

Q こども手当が創設され、扶養控除の一部が廃止されたことに伴い、市民税への影響額はいくら見込んでいるのか。

A 8,376 万円程度の増税である。

Q こども手当の未申請者は何名いるのか。また、未申請者に対してどのような申請勧奨を行っているのか。

A 未申請者 10 名である。対応策として、通知、電話連絡をしておりますが、連絡が取れない場合は訪問し、未申請者を 0 名にしたい。

農業体質強化基盤促進事業（暗渠排水事業） 事業費 9 億 6,422 万円



待たれる暗渠排水工事

Q 農家負担が出てくるので、どれくらい農家所得が減収するのか。農家に説明をしておくべきではないか。

A 3 ha 程度の農家で、試算しますと 25 万 7 千円程度の減収になります。その他に、暗渠排水の事業負担分があるので、総額約 40 万円の負担となります。

Q カントリーエレベーターの運営に支障はでないのか。

A カントリーの使用料は固定費と変動費となっており、各共乾施設で影響度は多少あるが、千代田町内にある 3 つのカントリーは規模が大きいので、影響は小さい。

小学校校舎改修事業（緊急防災・減災事業） 事業費 8,399 万 1 千円

Q 小学校校舎改修工事の今後の各学校改修予定年次は、どのようになっているのか。

A 平成 21 年度、外壁、屋根の調査をして、ランク付けをしている。千代田西部小学校、千代田東部小学校、仁比山小学校、千代田中部小学校と順次改修していく予定である。



小学校校舎改修事業（千代田西部小学校）